

2024年3月22日

## 第1回ジャパンセレクション～タイでの日本食品の今後について～

バンコク事務所長 西田 光孝

### 1. イベントの概要について

食の大規模見本市である第1回ジャパンセレクションが、2024年1月18日から20日までバンコクのクイーンシリキットコンベンションセンターで開催された。このイベントは日系企業の主催で、農林水産省や在タイ日本大使館、JETROバンコク事務所が後援し、農林水産省が推進するGFP農林水産物・食品輸出プロジェクト<sup>1</sup>の一つとなっている。

農林水産省では、2030年に5兆円の目標達成に向けて「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」を取りまとめており、主催者によると、加工食品、水産物、畜産物などのカテゴリーから延べ50団体の出展、3,000人を超える来場があり、350社を超えるバイヤーや卸企業が参加した。

### 2. 展示内容について

このイベントの特徴はBtoBに特化している点と、試食体験から商談・契約までをその場で行うことができる点だ。タイで初めて食品を出展する企業にとっては、主催者がFDA<sup>2</sup>への申請を代行したり、商品輸入や展示会場までの直接配送を行ったりするサービスなどをオプションで選べる点は心強いであろう。

今回の出展企業や商品の特徴は、加工食品をメインとしつつ、中国の輸入禁止を受けタイへの輸出拡大を狙った日本産水産物や、すき焼きや焼肉などタイの日本食ブームを支える和牛の拡大を狙った出展が目立った。さらに、近年、輸出量が拡大しているサツマイモなどの青果物の輸出拡大を狙った出展など、日本食品の海外輸出に関する現状を踏まえたものが多かった。

福岡・九州からはクラウン製パン（北九州市）、福岡ソノリク（佐賀県）が出展、ミニクロワッサン（写真1）や九州産のさつまいも、かんぱち、和牛などが出品され、活況だった。クラウン製パンの松岡常務取締役からは「出展期間中、大変多くの反響をいただいた。ジャパンプランドの人気の高さに驚いている。タイは非常に魅力ある市場」との声が聞かれた。



(写真1)ブースの様子  
(著者撮影)

<sup>1</sup> <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/gfptop.html>

<sup>2</sup> タイ保健省の一つの内局であるFood and Drug Administration（食品医薬品局）を指す。FDAでは食品、薬品、化粧品などの輸入を規制しており、多くの場合タイへ輸入するためには輸入者が同局へ登録申請を行い、認証を受ける必要がある。

### 3. タイにおける日本食品の現状と今後について

タイにおける日本食レストランは昨年よりさらに増加し5,751店舗<sup>3</sup>となった。また、タイへの日本食品の輸出額は511億円と世界第8位<sup>4</sup>である。一般的に日本食品は輸入品であるため高価になりがちだが、バンコクを中心に所得が伸びつつあり、輸入食品を購入できる層も増えている。一方、同じ日本食品同士での競争だけでなく、現地生産の競合商品もしくは他国からの低価格の輸入品などが市場に出回っている状況(写真2)で、需要はなお拡大しながらも競争の厳しさがある点は否めない。



(写真2) 日本産(左 299THB)と他国産(右 199THB)の柿が販売されている

今後、タイでの日本食品市場やこういった展開をしていくべきか、主催者である日系企業の代表(ディー・エム広告社 藤本社長)に伺ったところ、以下のアドバイスをいただいた。

#### (1) 今後のタイ市場における日本食レストラン、日本食品の市場について

今後もタイ日本食レストランや取扱店は増えていくと考えられるが、競争相手が多いバンコク都内というよりも郊外を狙うことはポイントの一つだ。また、タイ人が新たに始める日本食レストランに食材提供するほか、タイ料理のペアリング食材としての展開などを検討していくのがよい。また、タイ周辺国から参加したバイヤーもいるため、今後、タイ周辺国(マレーシア、ベトナム)での展開のきっかけにもなるだろう。

#### (2) 展示会で反応の良かった出展について

日本の生産者や販売者が実際に足を運んで訴求したり、タイのバイヤーへ向けた試食、条件提示、一部購買への対応をその場で行ったりできている企業は早期の商談に繋がっているようだ。

#### (3) どういった企業に参加を望むか

輸出に本気で取り組んでいる企業やタイ人に商品を売る気のある企業が良い。タイのバイヤーによると、販売する側では売れるか売れないかを判断せずに、是非自社の自信のある商品を出して欲しいとのことだ。

なお、当事務所では第2回ジャパンセレクションをはじめ、当地ないしタイや周辺国で開催される食品関係展示会に関する情報を引き続き収集する。また、タイ大手小売企業からは個別に福岡県産品の情報やタイ展開を考える県内企業に関する情報を求められている。ご関心があればぜひご相談いただきたい。

<sup>3</sup> JETRO バンコク事務所「2023年度タイ国日本食レストラン調査」  
([https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/thailand/food/2023Japanese\\_restaurant\\_survey/japaneserestaurantssurvey2023.jp.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/thailand/food/2023Japanese_restaurant_survey/japaneserestaurantssurvey2023.jp.pdf))

<sup>4</sup> 農林水産省「2023年の農林水産物・食品の輸出実績」  
([https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu\\_kokusai/kikaku/attach/pdf/240130-1.pdf](https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/attach/pdf/240130-1.pdf))